

External assessment 2021

---

Stimulus book

# Japanese

## General instruction

- Work in this book will not be marked.

## Stimulus 2

### かいそうのう か 海藻農家<sup>1</sup>

若い時、私は九州の佐賀県に住んでいた。家族はむかしからずっと佐賀県に住んでいて、海藻農家をしてきた。海藻農家というのは、すしのためののりを作っている。5年前に、祖父と父はのりを作っていた。家族は私に海藻農家になって欲しかった。

私は高校を卒業後、東京の大学に入った。4年間勉強する間に、東京がだんだん好きになった。東京は楽しいし、にぎやかだし、たくさん仕事を見つけることができるし、お金もためられた。

大学が終わった時、佐賀県にもどらなかっていった。大きい会社で働き始めた。私は 30代で結婚した。東京の生活はかんぺきだった。でも、子供が生まれた後、仕事はもっとむずかしくなった。毎日おそくまで、働かなければならなかったので、私は家族とあまり時間をすごせなくなった。どんどんストレスがふえた。

お盆休みに佐賀県にもどった。その時、両親は私に「れお、おじいさんはもう年をとったので、12月にリタイヤするよていだ。」と話した。父は一人でのり農家ができないと思った。その日、奥さんと話して、佐賀県にひっこすのを決めた。それは5年前のこと。今は家族ののりは、日本の全国で売っている。この生活をえらんでよかった。

---

<sup>1</sup> かいそうのう か  
海藻農家 — seaweed farmer

## Stimulus 3

Stimulus redacted.



© State of Queensland (QCAA) 2021

Licence: <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0> | Copyright notice: [www.qcaa.qld.edu.au/copyright](http://www.qcaa.qld.edu.au/copyright) — lists the full terms and conditions, which specify certain exceptions to the licence.

Attribution: © State of Queensland (QCAA) 2021